

## ■ 編集委員

池淵 研二 (委員長)

小林 国彦 小山 勇 篠塚 望 菅澤 正 名越 澄子 仁科 正実 町田 早苗

松下 祥 渡辺 修一 Chad L. Godfrey (五十音順)

## ■ 編集後記

私は2008年の第35巻から赤塚先生からバトンタッチを受け編集委員長を仰せつかりましたが、いよいよこの号で役目を終わらせていただきます。会員の皆様には有意義な雑誌として提供できていましたでしょうか？ただし編集委員長と雑誌の完成を縁の下で支えていただいた事務局の力の及ぶ範囲は限られており、内容は執筆者の力量と指導される上司の熱意に依存すること大です。

「埼玉医大雑誌だから何でも採用してくれるよ・投稿すれば掲載可をもらえるよ」という、ちょっと甘い考えで指導される教官向けに、決してそうではありませんよと、これまでも何度かアピールさせていただきました。そのような指導の下で投稿されたスタッフや部下の先生方は投稿後に厳しい査読コメントをもらい、実に苦勞されていることを覚えておいていただきたいと思います。投稿時に論文が将来学位申請論文になるか否かを質問するようにして、該当する場合は査読者を3名指名して査読の充実を図っています。学位審査委員会で厳しくコメントされないための編集委員会の親心だと受け取っていただければ幸いです。繰り返しますが充実した指導をしていただけることを切に望みます。

思い出の1つをご紹介します。「編集後記を読んだよ」という反応が1度あったことです。埼玉医大アスリートクラブ(埼玉医大AC)の発足を紹介した記事でした。私自身は長距離を走ることは出来ませんが、正月にテレビで放映され熱狂的なファンが多い、実業団駅伝と箱根駅伝に「埼玉医大」のゼッケンを着けた選手が登場することが、埼玉医大のブランド名を上げるに違いないよねと友人たちに話をしていました。ちょうどその頃に埼玉AC部が発足したのです。その後、昨年度には女子駅伝部がプリンセス駅伝に出場、男子駅伝部が東日本実業団駅伝に出場、今年に入って奥むさし駅伝で男子駅伝部が出場230チームの激戦を制して優勝、と素晴らしい活躍をしています。理事長もAC部部長も本気モードで埼玉医大ブランドの夢を描いておられるようです。会員の皆様にも応援宜しくお願い致します。

(池淵 研二)

## 埼玉医科大学雑誌

<http://www.saitama-med.ac.jp/jsms/>

第45巻 第2号

編集責任者

池淵 研二

平成31年3月15日 印刷

平成31年3月31日 発行

発行所

埼玉医科大学 医学会

350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

電話 049(276)2102/2030(直通) FAX 049(276)1860 E-mail: igakkai@saitama-med.ac.jp

郵便振替 00540-6-19727

製 作

レタープレス株式会社

広島市安佐北区上深川町809番地の5 電話 (082)844-7500 <http://www.letterpress.co.jp/>